

# 塩谷郡市医師会だより

## Contents

- 1 平成29年度第2回役員会報告
- 2 第13回市民公開講座報告
- 3 学術講演会報告
- 4 認知症疾患医療センター開設の御報告

一般社団法人 塩谷郡市医師会  
広報委員会

〒329-1312

さくら市桜野1319番地3

さくら市氏家保健センター内

TEL 028(682)3518

FAX 028(682)5760

## 平成29年度第2回役員会報告

平成29年10月16日(月)午後7時から医師会事務室で開催された。

出席者:岡会長,阿久津副会長,佐藤会計担当理事,軽部理事,半田理事,仲嶋理事,植木理事,高橋理事,手塚理事,嶋尾理事,村井信之監事,森島監事



岡一雄会長の挨拶の後、下記について議論された。

1, 平成30年・31年度理事・監事及び各種委員会委員の推薦依頼について・・・平成31年4月14日に定時総会において、理事・監事・各委員会委員の選挙が行われる予定。平成30年2月14までに各医師団にて推薦していただく。理事の定員はさくら市、矢板市は4名、うち一名は病院から。高根沢町と、塩谷町は、理事は2名ずつ、塩谷郡市医師会での理事は合計12名、監事は2名となる。

2, 市民公開講座の進捗状況・・・10月22日(日)13時～15時に矢板市文化会館大ホールにて開催される。講師は日本尊厳死協会理事長の岩尾總一郎氏による「安らかな看取りを求めて」多数の参加をお願いした。

3, 在宅医療連携拠点整備促進事業計画について・・・コーディネーターの川島千春さんから説明があった。今後別紙のように関連講演会が開催されるので積極的な参加をお願いします。来年3月でこの事業は終了。その後は行政に引き継がれる予定。

4, 休日診療について・・・塩谷町の休日診療について、会員医師の高齢化や廃業により、町内の医師団会員でこれまでのように順番に回していくには無理が出てきた。隔週で休日診療を行う予定。この問題について岡会長から次のようにコメントがあった。塩谷郡市医師会は2市2町と4つの市町村が絡んでくるので複雑。行政の立場からすると当番医が空いてしまうことが問題となる場合があるので、空欄にするわけにいかず近隣の市町村の医療機関が入る可能性がある事をご了承して頂きたい。また県内の他の地区の休日診療の現状について説明され、今後の塩谷郡市医師会の休日診療について各医師団の会合にて議論・再考してみる必要がある。

5, 前桑川事務長の退職について・・・岡会長より、ご病気のため退職・自宅療養されている趣旨、説明があった。また、新事務長から退職金、見舞金の支払いなどについて説明があった。急なことなので引き継ぎが完全にされていない為しばらくは不手際があるかも知れない趣旨の報告がなされた。

6, 新事務長の紹介・・・齋藤雅彦氏。自己紹介された。

## 第13回塩谷郡市医師会市民公開講座報告

開催日時:29年10月22日(日)PM1:00～3:00

場所:矢板市文化会館大ホール

ご来場者数:450人、スタッフ:54人



塩谷郡市医師会ホームページ/メール	広報委員会編集部	医師会事務局
URL <a href="http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/">http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/</a> メール <a href="mailto:shioya@tochigi-med.or.jp">shioya@tochigi-med.or.jp</a>	高橋雄二 <a href="mailto:uppaship@fa2.so-net.ne.jp">uppaship@fa2.so-net.ne.jp</a>	齋藤 <a href="mailto:saitou.shioya@gmail.com">saitou.shioya@gmail.com</a> 高橋 <a href="mailto:takahashi@e-shioya.jp">takahashi@e-shioya.jp</a>

当日は、超大型台風 21 号が上陸する強風・大雨の中、また、第 48 回衆議院選投票の中でしたが、約 450 名のご来場をいただきました。



今回の市民公開講座は、矢板市の医師団が中心となり、「終末期医療」という視点をテーマとして、患者の意思を尊重した終末期医療について考え、地域住民が人生の終末をいかに満足した状態で過ごし、尊厳ある死をむかえることができるかについて啓発を行うことをテーマとしました。

司会は、フリーアナウンサーの中野知美さん(とろろさん)をお願いして、午後 1 時のブザーの合図で始まり、主催者代表の岡一雄会長の挨拶のあと、ご来賓の矢板市長齋藤淳一郎様のご祝辞をいただきました。



午後 1 時 10 分に第 1 部ミニコンサートでは、ケーナ奏者 Ren さんによる 南米の縦笛「ケーナ」で奏でる世界の名曲たちと題して、約 50 分間の Ren さんのケーナの音色に来場者は感動し大きな拍手を送っていました。

午後 2 時から、第 2 部日本尊厳死協会 理事長岩尾總一郎先生による「安らかな看取りを求めて」をテーマに基調講演となりました。



内容的には重いテーマではありましたが、  
(1) 高齢化社会、日本の現状について  
(2) 看取りと End-of-Life  
(3) 尊厳死、安楽死、平穏死、自然死…  
(4) 事前指示書 (リビングウィル) について  
のお話があり、おわりに…健やかに生き、安らかに逝くということばで締めくくられました。

第 1 部のミニコンサート、第 2 部の基調講演が終わり、矢板市医師団長の池田斉先生から閉会の挨拶をもって悪天候の中でしたが、無事終了することができました。

ご来場いただいた方々、そして準備に携わった方々、当日の休みにも係らず応援して頂いた方々に感謝申し上げます。

## 学術講演会 I

「腰痛はなぜむずかしいー手術と保存治療ー」～SNRI への期待～

日時：平成 29 年 5 月 16 日 (火)

講師：佐野厚生総合病院 副院長兼脊髄センター長

清水 健太郎 先生



疼痛は、急性期と 3 カ月以上続く慢性期のものに大別され、それぞれの時期にあわせて、薬剤を選ぶ時代です。腰痛などの急性期は NSAID を、慢性期にはサインバルタが適しています。神経痛はその時期でも、リリカが、第一選択薬です。どの薬にも、固有の副作用があり、注意が必要です。特に老人への安易な長期の NSAID 使用は、腎機能障害の大きなリスクで、忘れてはなりません。(半田 教)

## 学術講演会 II

「様々な実証例から学ぶ血糖改善の秘訣」

日時：平成 29 年 6 月 13 日 (火)

講師：東大和病院 副院長・糖尿病センター長

犬飼 浩一 先生

“どうやって HbA1c や体重を効果的に下げるか。”をテーマにご講演いただきました。糖尿病治療薬の選択肢が増える中、多剤併用による問題点、高容量 SU 剤投与の問題点、グリニド・メトホルミン・DPP 4・GLP-1・SGLT-2 等の薬剤使用上のノウハウ、肥満患者・非肥満患者・高齢患者に対する治療上の注意点などを、症例検討を中心にわかりやすくご説明いただきました。日常診療に即役立つ内容のご講演でした。(仲嶋秀文)



### 学術講演会Ⅲ

「エビデンスに基づいた過活動膀胱の薬物療法」

日時：平成 29 年 7 月 21 日（金）

講師：獨協医科大学病院 排泄機能センター教授

山西 友典 先生



下部尿路障害の症状は、頻尿、残尿感、尿勢低下、尿失禁などで、男性では出にくさ、女性では尿もれの訴えが多い。過活動膀胱（OAB）に関するガイドラインが出されたが、一般と専門があるので参考にして欲しい。前立腺肥

大があれば先に治療し、前立腺肥大がなければ女性の場合と同様に対応する。夜間頻尿の訴えは 33% 以上と多いが、診断には尿量と回数をチェックする排尿日誌を書いてもらうことが重要である。排尿時間と尿量を記録することで、心因性頻尿、夜間頻尿、過活動膀胱などの鑑別に役立つ。治療は行動療法、膀胱訓練、薬剤治療、電気刺激療法などがある。膀胱訓練では尿意を感じてから 5 分間我慢する訓練や、定時排尿時に水の音を聞かせることなど様々である。薬剤は抗コリン剤が主体であるが、口乾や便秘の副作用に注意が必要である。最近では副作用の少ない薬剤もある。



情報交換会では参加した先生方から近況報告があったが、週 1 回、黒須病院で診療している山西先生にもお話を頂いた。今後は黒須病院に医局員を派遣し週 2 回程度の泌尿器科外来診療を実現したいと意欲を述べられた。（阿久津博美）



### 学術講演会Ⅳ

「乳がんから身を守る」

日時：平成 29 年 9 月 12 日（火）

講師：栃木県立がんセンター 乳腺外科

安藤 二郎 先生



昨年の大腸がんの講演会に引き続き、今回第 2 回目となる県立がんセンターの講演会は芸能人のブログで注目を集めた乳がんをテーマに話をしていただいた。乳がんは米国の女優が遺伝子検

査で乳がんを発症しやすいことがわかって予防的切除を行っているが、今回の安藤先生はマンモグラフィー、エコーによる検診から、疫学、手術療法、放射線療法、化学療法などの治療まで幅広く、わかりやすく話をしていただき、専門でない開業医が患者さんから相談された時にも十分役に立つ内容であった。会場からも、マンモグラフィーが痛いために検診を受けにくいなどの質問もあり、質疑の活発な講演会であった。（岡一雄）

### 脳卒中・急性心筋梗塞対策専門研修会

「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017 を読み解く～PCSK9 阻害薬への期待～」

日時：平成 29 年 10 月 10 日（火）

講師：獨協医科大学日光医療センター

心臓・血管・腎臓内科 主任教授 安 隆則 先生

過去の高脂血症治療の

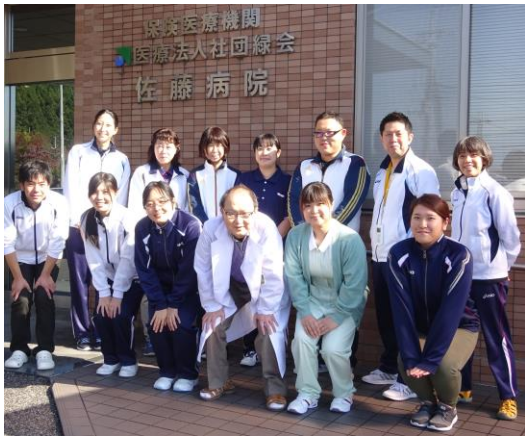
エビデンスから始まり、2017 年に改訂された動脈硬化予防ガイドラインのポイント、新規高コレステロール血症治療薬 PCSK9 阻害薬の効果などを解説していただいた。



さらに家族性高コレステロール血症の具体的な症例も提示してもらい非常に充実した内容であった。これまでのスタチンによる LDL 低下作用をはるかに上回る PCSK9 阻害薬の効果は、高脂血症治療の新たな時代の到来を感じさせ、動脈疾患や糖尿病などのリスクを抱える患者の治療が今後大きく変わる可能性が示唆された。安先生は循環器領域のみならず、腎臓疾患、心臓リハビリテーションなどにも精通された臨床経験豊富な先生だけに、奥の深い内容を開業医にもわかりやすく解説していただいた。（北條行弘）

## 認知症疾患医療センター開設の御報告

特定医療法人緑会 院長 佐藤勇人



当院が、本年 12 月 1 日付けで、栃木県から認知症医療疾患センターとして指定されたことを御報告させていただきます。

まず、「認知症疾患医療センターって何のこと？何をするの？」と思っらっしゃる先生方もおられると思いますので、簡単に概要と業務内容を説明いたします。

認知症医療疾患センターは、県が二次医療圏の高齢者人口 6 万人に 1 ヶ所を目途に指定する認知症医療に対応する機関です。ですから、実施主体は栃木県であり、指定を受けた医療機関は県から委託を受けて事業を実施しています。

県内には、当院含めて 10 か所が設置されており、県北二次医療圏では烏山台病院が平成 11 年 7 月より指定されています。

事業内容は、大きく分けて以下の通りです。

①相談業務 ②診断・治療業務 ③行政と地域医療機関との連携 ④認知症知識と対応の啓蒙活動などがあります。

人員基準としては、専門医 1 名 専従スタッフ 1 名（保健師 OR 看護師 OR 精神保健福祉士）専任スタッフ 1 名（臨床心理士）が義務づけられており、相談窓口も電話での専用回線の設置が必須事項です。

もちろん上記のスタッフ人数での対応は不可能であり、専従、専任スタッフの他に臨床心理士 1 名・臨床心理技術者 1 名・相談スタッフ 3 名（看護師 1 名、精神保健福祉士 2 名）の体制で対応予定です。

連携医療機関としては、国際医療福祉大学病院と国際医療福祉大学塩谷病院の協力を得て、当院で施行できない MRI や SPECT 検査等の施行で診断業務を助けていただきます。

至らない点があれば、遠慮なく御指摘、御指導の程、何卒よろしく願いいたします。

BPSD 症状のある認知症患者さんの入院等の受け入れ機関としては、当院のみでの対応は困難と考えて、県北の精神科病院の協力もお願いする予定です。

また、当院紹介の為の、専用の診療情報提供書を作成してお配りいたします。かかりつけ医の皆様とは、より一層の強固な連携体制を構築したいと考えておりますので、何卒ご協力お願いいたします。

この度の指定にあたっては、岡会長はじめとする塩谷都市医師会の皆様・矢板医師団・矢板市・那須都市医師会・栃木県精神衛生協会等の多大な御協力をいただきました。この場を借りて深く感謝いたします。

今後は、栃木県北の認知症医療についてお役に立てますように、より一層精励し、微力ながら医療界の発展に尽くしていく所存でございます。

## 在宅医療連携拠点整備促進事業研修会

### 「塩谷地区の在宅医療の現状を考える」

日時：平成 29 年 7 月 25 日（火）

講師：後藤医院 院長 後藤 哲郎 先生  
高根沢中央病院 院長 青木 洋 先生  
植木医院 院長 植木 雅人 先生  
佐藤クリニック 院長 佐藤 泉 先生



### 「私の訪問診療（道）」

日時：平成 29 年 9 月 20 日（水）

講師：上都賀都市医師会 会長  
奥山医院 院長 奥山 明彦 先生

## ※事務長が代わりました！



齋藤雅彦 事務長

8 月から急きょ！お世話になることになりました。

短時間の引継のため、皆さまにはご迷惑をかけております。

一日も早く皆さまのお役にたてるよう頑張りますので、しばし、温かい目で見て頂きますようお願いいたします。